

ご 挨 拶

第16回日本産婦人科・新生児血液学会総会・学術集会を甲府市において開催させていただくことになりました。

本学会は、産婦人科・小児科領域の血液学に関する分野を研究し、この学問の進歩発展を図ることを目標に組織された学術集会です。特別講演といたしまして、秋田大学名誉教授真木正博先生に「凝固・線溶、とくに DIC 研究の今昔」をお願いいたしました。真木先生は、本学会の最優秀演題賞（真木賞）にもお名前がついておりますが、本学会の草分けのお一人であり、凝固・線溶の第一人者でいらっしゃいます。皆様とともに、「DIC 研究の温故知新」を興味深く拝聴したいと考えております。

教育講演は、「二卵性一絨毛膜性双胎の抱える問題」を北海道大学病院周産母子センターの長 和俊先生に、「わが国の血液凝固異常症の現況」を聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院小児科の瀧 正志先生に、「妊婦における静脈血栓塞栓症の予防と管理」を信州大学医学部保健学科の小林隆夫先生に、それぞれお願いいたしました。小児科、産科、そして生殖医療の領域で直面している重要な疾患の現状についてわかりやすく解説していただく予定にしております。ご期待下さいますようお願い申し上げます。

「ビタミン K フォーラム」、「ランチョンセミナー」も用意させていただきました。また沢山の一般講演で活発なご討論が展開されることを期待しております。

山梨は今、緑の美しい季節を迎えております。富士山、富士五湖、南アルプス、八ヶ岳、秩父連峰、昇仙峡、来年の NHK の大河ドラマ「風林火山」にまつわる数々の史跡、等々を散策されるのも楽しいでしょう。また、日本一の葡萄、桃、ワイン、南アルプスの清流が育んだウィスキーや地酒も皆様をお待ちしております。お楽しみいただければ幸いです。

第16回日本産婦人科・新生児血液学会

会 長 星 和 彦

第16回日本産婦人科・新生児血液学会

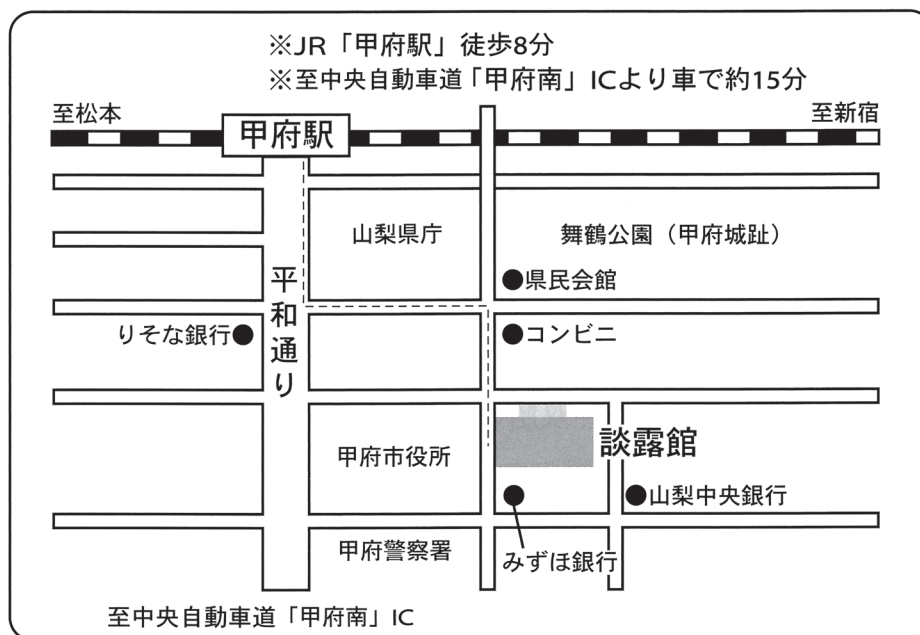
期 日：平成18年6月9日(金)・10日(土)

会 場：ホテル談露館

〒400-0031 山梨県甲府市丸の内1-19-16

TEL 055 (237) 1331, FAX 055 (233) 0233

会場案内図《ホテル談露館》



山梨への交通

■公共交通機関の場合

JR 新宿駅から → 中央本線特急 (あずさ・かいじ) → JR 甲府駅

JR 名古屋駅から → 中央本線特急 (しなの→あずさ) → JR 甲府駅

JR 静岡駅から → 身延線特急 (ふじかわ) → JR 甲府駅

■自家用車利用の場合

新宿から → 中央自動車道 → 甲府南 IC 100 分 (100Km)

名古屋から → 中央自動車道(岡谷 JC 東京方向へ) → 甲府南 IC 210 分 (250Km)

静岡から → 国道 52 号線 → 甲府 120 分 (100Km)

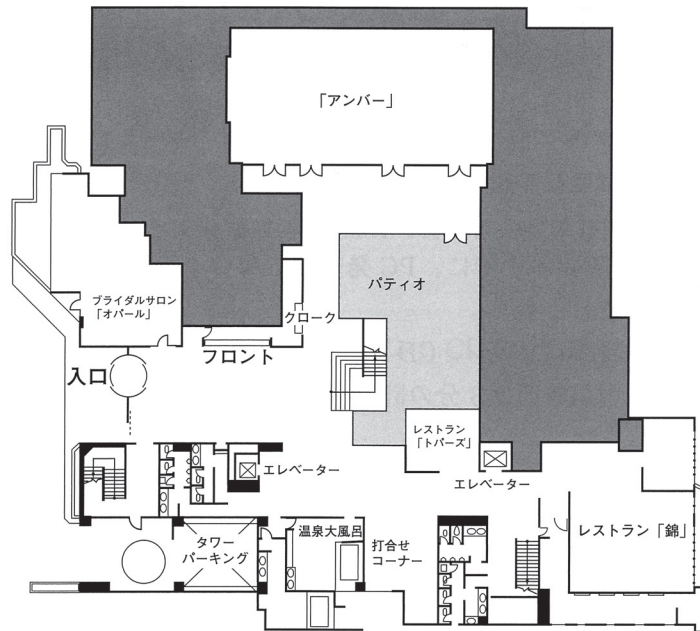
富士宮から → 国道 139 号線 → 甲府 90 分 (80Km)

会場への交通

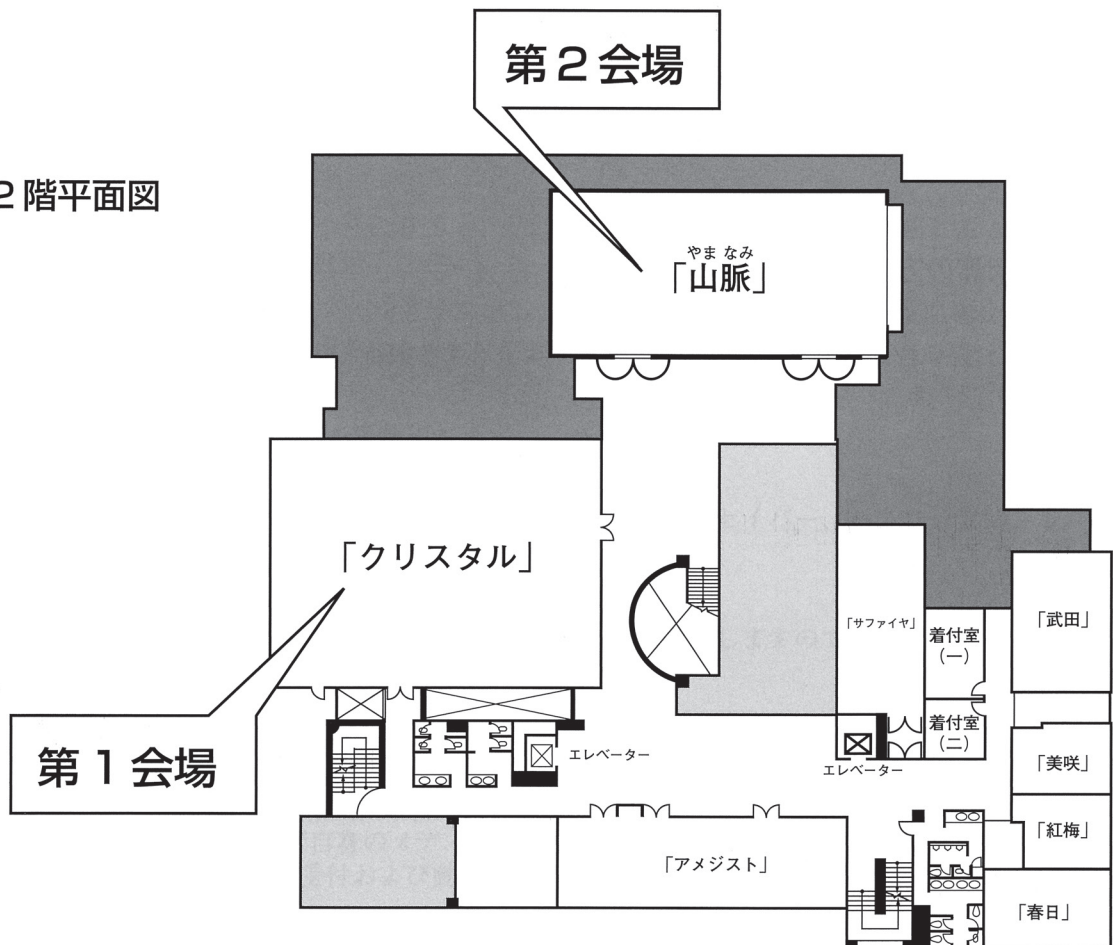
■徒歩：JR 甲府駅～会場 8 分

■タクシー：JR 甲府駅～会場 5 分

1 階平面図



2 階平面図



お知らせ

1. 一般演題の演者の方々へ

- 1) 質問、討論の形式は座長の指示に従って下さい。
- 2) 2次抄録は必要ありません。
- 3) 発表予定時間の1時間前までに、PC発表用の媒体を会場前の受付へお持ち下さい。
スタッフが対応いたします。
- 4) 発表データはご自身のパソコン、CD-R、USBフラッシュメモリーでお持ち下さい。
- 5) 発表時間は7分、討議時間は3分の計10分です。

2. 座長の方々へ

- 1) 円滑な進行にご協力お願いいたします。
- 2) 次座長の方は所定の場所で待機をお願いいたします。

3. ご参加の方々へ

- 1) 会場登録受付で参加手続きを行って下さい。
- 2) 学会参加費 5,000 円をお支払いの上、名札に所属・氏名をご記入下さい。
- 3) 会場では必ず参加章（名札）をお付け下さい。
- 4) 産婦人科の先生方には専門医シール(10単位)が交付されますので、受付でお受け取り下さい。

4. 懇親会出席の方々へ

懇親会参加費 3,000 円を当日お支払いの上、ご出席下さい。
皆様お誘い合わせの上、お越し下さいますよう心よりお待ちしております。

PC 発表についてのお願い

■ 演者の方へ

- 1) 発表時間は 1 題 10 分です。発表 7 分、討論 3 分として下さい。
- 2) 原則として、パソコンでの発表となります。従来の VHS テープ、miniDV テープ、DVD-video などはお使いできません。
- 3) 発表データは PowerPoint で作成し、ご自身のパソコン、CD-R、USB フラッシュメモリーにて PC 受付にご提出下さい。
- 4) 会場のパソコンは Windows XP のみです。
- 5) PC をお持ち込みの場合、OS は Windows 2000/XP のみに対応となります。
- 6) アプリケーションソフトは Microsoft PowerPoint 2000、2003 をご用意しております。対応するソフトにてファイルをご用意下さい。
- 7) スライドショーに動画・音声ファイルを使用される場合は、プレゼンテーションファイル(.ppt) と動画ファイルを同一フォルダに保存して下さい。動画の場合はウィンドウズメディアプレイヤーで再生確認して下さい。
- 8) 特殊なフォントを使用されますと代替フォントに置き換えられ、レイアウトが崩れることがあります。標準のフォントをご使用下さい。
- 9) ファイルに音声・動画をご使用される場合は事前に学会事務局にご連絡下さい。
- 10) 映像出力端子は miniD-sub15pin を使用します。
- 11) パソコンをお持ち込みされる場合は、省電力機能、スクリーンセイバー、パスワードによるログインのロック等を全て解除して下さい。
- 12) 演台上に液晶ディスプレイとキーボード、マウスをご用意いたしますので、発表スライドの操作はご自身でお願いいたします。
- 13) お預かりしたメディアおよび PC はご発表後にご返却いたします。
- 14) 発表時間の 1 時間前までにご自身のメディア媒体 (CD-R、USB フラッシュメモリー) および PC 本体をご提出いただき、受付および動作チェックを行って下さい。

《お問い合わせ先》

学術集会事務局

〒409-3898 山梨県中央市下河東 1110

山梨大学医学部産婦人科教室 第 16 回日本産婦人科・新生児血液学会

学術集会事務局 奥田 靖彦

TEL 055-273-9632 FAX 055-273-6746

第16回日本産婦人科・新生児血液学会

学会進行表

第1日 平成18年6月9日 金曜日

	第1会場「クリスタル」	第2会場「 やまなみ 山脈」
9:15～9:20	開会式、会長挨拶	
9:20～10:00	一般演題①	
10:00～10:40	一般演題②	
10:40～11:20	一般演題③	
11:20～11:50		評議員会
11:50～12:20	総会	
12:25～13:25	ランcheonセミナー	
13:35～14:15	一般演題④	
14:20～15:00	教育講演①	
15:00～16:00	特別講演	
16:00～17:45	ビタミンKフォーラム	
18:00～20:00		懇親会

第2日 平成18年6月10日 土曜日

	第1会場「クリスタル」
9：10～9：50	教育講演②
9：50～10：30	教育講演③
10：30～11：10	一般演題⑤
11：10～11：50	一般演題⑥
11：50～12：00	閉会式

特 別 講 演

平成18年6月9日（金） 15：00～16：00

凝固・線溶、とくにDIC 研究の今昔

S-1

座長；浜松医科大学

寺尾 俊彦 先生

演者；秋田大学名誉教授

秋田県介護老人保健施設 千秋苑

真木 正博 先生

教 育 講 演 ①

平成18年6月9日（金） 14：20～15：00

二卵性一絨毛膜性双胎の抱える問題

S-3

座長；宮崎大学医学部産婦人科

池ノ上 克 先生

演者；北海道大学病院周産母子センター

長 和 俊 先生

教 育 講 演 ②

平成18年6月10日（土） 9：10～9：50

わが国の血液凝固異常症の現況

S-5

座長；山梨大学医学部小児科

中澤 眞平 先生

演者；聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院小児科

瀧 正志 先生

教 育 講 演 ③

平成18年6月10日（土） 9：50～10：30

妊婦における静脈血栓塞栓症の予防と管理

S-7

座長；奈良県立医科大学小児科

吉岡 章 先生

演者；信州大学医学部保健学科

小林 隆夫 先生

一般演題 ①

平成18年6月9日（金） 9：20～10：00

血栓・塞栓症

座長；北海道大学医学部産婦人科 水上 尚典 先生

- 1) 偽性バーター症候群合併妊娠の1例－妊娠高血圧症候群モデル？－ S-9
北海道大学医学部産婦人科 森川 守
- 2) 妊娠36週に発見され一時的な大静脈フィルターを挿入した肺血栓
塞栓症(PTE)の1症例 S-11
自治医科大学産科婦人科 島田 和彦
- 3) 肺塞栓症が疑われウロキナーゼによる線溶療法が有効であった極低出生
体重児の1例 S-13
奈良県立医科大学周産期医療センター新生児集中治療部門 川口 千晴
- 4) 羊水塞栓症の予後因子の検討（AFE score、IL-8は予後因子になりうるか） S-15
浜松医科大学産婦人科 木村 聡

一般演題 ②

平成18年6月9日（金） 10：00～10：40

合併症妊娠

座長；福島県立医科大学産婦人科 佐藤 章 先生

- 1) 妊娠性溶血性貧血の1例 S-17
宮崎大学医学部産婦人科 桂木 真司
- 2) 透析歴のある発作性夜間血色素尿症(PNH)合併妊娠に対しハプトグロビン
が有効であった1例 S-19
防衛医科大学校産婦人科 吉田 昌史
- 3) 心房性頻拍症による心不全のため妊娠15週に肝機能障害および播種性血管
内凝固症候群をきたした1例 S-21
山梨大学医学部産婦人科 小笠原英理子
- 4) 母児の臨床像および抗体検査からみた cytomegalovirus IgG avidity index
の有用性に関する検討 S-23
宮崎大学医学部周産母子センター 金子 政時

一般演題 ③

平成18年6月9日（金） 10：40～11：20

新生児・乳児 1

座長；東京女子医科大学母子医療センター 仁志田博司 先生

- 1) インターフェロンアルファ療法が奏効した Kasabach-Merritt 症候群の
1 乳児例 S-25
信州大学医学部小児医学講座 下島 圭子
- 2) 極めて稀な血小板特異抗原 (Human Platelet Antigen) 不適合による
新生児同種免疫性血小板減少症 S-27
福島県立医科大学総合周産期母子医療センター新生児部門 今村 孝
- 3) 新規 CIAS1 遺伝子異常を認めた Neonatal Onset Multisystem
Inflammatory Disease の 1 例 S-29
九州大学大学院医学研究院成長発達医学 高田 英俊
- 4) 新生児期から汎血球減少と肝脾腫が先行した多発内臓浸潤型若年性
黄色肉芽腫の 1 例 S-31
九州大学大学院医学研究院成長発達医学 原 卓也

一般演題 ④

平成18年6月9日（金） 13：35～14：15

凝固

座長；埼玉医科大学医学教育センター 畑 俊夫 先生

- 1) ハイリスク妊娠における抗 phosphatidyl-ethanolamine 抗体と
低用量アスピリン療法の効果 S-33
東京医科大学八王子医療センター産科婦人科 野平 知良
- 2) 血栓傾向を有する妊婦における在宅での予防的抗凝固療法の試み S-35
浜松医科大学周産母子センター 高荷 理子
- 3) 反復流産患者におけるカルパインの存在と役割 S-37
名古屋市立大学医学部産科婦人科 野沢 恭子
- 4) 低出生体重児の凝固・線溶検査の正常域に関する検討 S-39
京都大学大学院医学研究科発生発達医学講座 河井 昌彦

一般演題 ⑤

平成18年6月10日（土） 10：30～11：10

前置胎盤・妊娠高血圧症候群

座長；富山大学医学部産科婦人科 斎藤 滋 先生

- 1) 帝切後子宮出血に子宮動脈塞栓術が有用だった ITP 合併全前置胎盤の 1 例 S-41
防衛医科大学校産婦人科 長谷川ゆり
- 2) 当院における最近 8 年間の前置胎盤症例の臨床的検討 S-43
母子愛育会総合母子保健センター愛育病院産婦人科 桧垣 博
- 3) Reversible posterior leukoencephalopathy syndrome と診断された S-45
産褥子癇、産褥 HELLP 症候群の 1 例 信州大学医学部産科婦人科 近藤 沙織
- 4) 重症妊娠高血圧腎症例における $CD4^+CD25^{bright}$ 制御性 T 細胞ならびに S-47
着床部での Toll like receptor(TLR)-4 発現に関する研究
富山大学医学部産科婦人科 鈴木 大輔

一般演題 ⑥

平成18年6月10日（土） 11：10～11：50

新生児・乳児 2

座長；九州大学成長発達小児科 原 寿郎 先生

- 1) 臍帯血移植を行った 17 例の検討 S-49
山梨大学医学部小児科 合井久美子
- 2) エリスロポエチン導入後の 1996 年から 2000 年の 5 年間の極低出生体重児の S-51
輸血割合とエリスロポエチンの使用の現状 日本大学医学部小児科 細野 茂春
- 3) 長期経口栄養摂取不良母体から出生し重度の出血傾向を呈した低出生体重児 S-53
の 1 例 日本大学医学部小児科 小高美奈子
- 4) 乳児ビタミン K 欠乏性出血症全国調査成績（1999～2004 年） S-55
日本小児科学会新生児委員会ビタミン K 投与法の見直し小委員会 白幡 聡

第9回ビタミンKフォーラム

平成18年6月9日（金） 16：00～17：45

血栓症の遺伝子素因

1. 日本人における血栓症の遺伝的背景

長崎国際大学 濱崎 直孝 先生

2. ビタミンKサイクル遺伝子多型とワルファリン療法の今後の動向

国立循環器病センター研究所 宮田 敏行 先生

司会 産業医科大学小児科 教授 白幡 聡 先生
浜松医科大学 学長 寺尾 俊彦 先生